

研究機関：広島大学

研究課題名	睡眠時無呼吸症候群患者の睡眠が感情に与える影響に対する日本語版 The Positive and Negative Affect Schedule (PANAS)を用いた検討
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科睡眠医学講座 寄附講座教授 塩見 利明
研究期間	倫理委員会承認後～ 2023年 3月 31日
対象者	2021年 6月 1日～ 2021年 12月 31日の間に、広島みなとクリニックにおいて睡眠時無呼吸症候群と診断され、PANAS に回答した患者さん
意義・目的	ヒトの感情は大きく分けて、Positive感情とNegative感情の2大要素より構成されていますが、睡眠時無呼吸症候群の患者さんの睡眠がこれらの感情に与える影響を調査します。睡眠時無呼吸症候群による睡眠の質や量の変化が感情に与える影響を調査することにより、睡眠呼吸障害による感情面での意義を明らかにし、通常治療により得られる睡眠の改善が高血圧症や精神疾患などの発症や進行の抑制につながる可能性を探ることに繋がります。
方法	終夜睡眠ポリグラフ検査を行う前後と睡眠時無呼吸症候群の通常治療後の一晩の睡眠前後に、感情に関する質問票 (PANAS) を実施し、調査結果を本研究で二次利用し、睡眠が感情に与える影響を統計学的に解析します。また診療録から年齢、性別、確定診断、既往歴、問診票、終夜睡眠ポリグラフ検査結果を使用します。 解析や発表の際には氏名や住所など、個人が特定できる情報は使用しません。
共同研究機関	広島みなとクリニック
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科睡眠医学講座 寄附講座教授 塩見 利明
個人情報保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel:082-257-1922 広島大学医系科学研究科睡眠医学講座 教授 塩見 利明